

H26 一年生学年合宿 山行報告

日程:10月31日(金)～11月3日(月)

山域:屋久島 宮之浦岳

メンバー:田中早紀、山崎史也

〔行動概要〕

10月31日(金)

朝に到着する夜行バスが、既に満席で予約できなかったので、1日(土)の午前1時到着の高速バスで鹿児島島に向かった。天文館通のマンガ・ネット館で夜を過ごす。(1人6時間 980円)

11月1日(土) 行動時間:1:00

7:30 出発

8:30～12:50 フェリー屋久島 2

13:00～13:30 宮之浦港～合庁前 (タクシー)

13:30～14:30 合庁前～紀元杉 (バス)

14:30～14:50 紀元杉～淀川登山口

15:05～15:40 淀川登山口～淀川小屋

7:30 にマンガ・ネット館を出発。歩いて宮之浦港に向かいフェリーに乗船するも、宮之浦港への到着が 20 分遅れ、バスを逃した。フェリー屋久島 2 に乗船する場合遅延を見越して計画を立てるとよいだろう。宮之浦港にて観光案内所で登山届を提出した。その後、バスの乗り換え地点 (合庁前) までタクシーを利用することにした。運転手のおじさんに 80 キロ出してもらい、ギリギリ間に合う。(4600 円) バス移動中雨が降るも、下車後は晴れ、快適に登山できた。淀川登山口まで車で来ている人々もいて、とても賑わっていた。1 日目ながら 3 匹のシカに出会え、いつもと違う山行はとても楽しかった。連休だからだろうか、紀元杉までのバスは満席で、淀川小屋も満杯になっていた。16:30 に夕食をとり、18:30 には就寝した。

11月2日(日) 行動時間:6:00

6:45 出発

7:50 花之江河

9:54 宮之浦岳

10:50 平石

12:20 新高塚小屋

13:00 高塚小屋

小屋宿泊者の朝は早く、3時には皆起床していた。我々は6時起床とのんびりしていたら、出発が最後となってしまった。幸い我々の出発時に雨は降っておらず、サクサク進んだ。順調と思っていたら、黒味岳への分岐を見逃してしまい、予定していた登頂を断念する。だが、この日もシカと遭遇することができ、気分は上昇。屋久島の豊かな自然を満喫しながら歩いていく。途中の登山道はよく整備されていたが、木の板から成る道や階段が多く、とても滑りやすかった。また宮之浦岳山頂は霧が白く立ち込み、なおかつ強風が吹き付け、何の景色も拝めず残念だった。宮之浦岳を過ぎて数分、山頂からの下り道を間違えていないかという疑念がわき、登り返した。山頂まで戻り、合っていたことを確認できたが、怪しいとおぼえた時点で引き返せた判断はよかったと考える。黒味岳に登っていない分、高塚小屋まで足を伸ばした。淀川小屋同様人が多く、我々で満員となる。その後訪れ、新高塚小屋まで引き返した人も大勢いたようだ。到着後、田中が単独で明るいうちに縄文杉を見に行くと、雨が降りだしてきた。雨は激しさを増し、夜も降り続ける。

11月3日(月) 行動時間:4:00

6:40 出発

8:00 大株歩道入口

8:50 楠川分かれ

9:35 辻峠

9:50 白谷山荘

10:40 白谷雲水峡

苔むした原生林を抜け、白谷雲水峡へ水と共に下っていった。予定より早く着いたので、高速船トッピー朝になって雨は収まる。小屋宿泊者が3時頃に起床し出立していく中、この日も我々はマイペースを貫き、5:30に起床。明るくなるのを待ち、のんびり6:40に出発。10分程で、縄文杉に着く。すると、早くに出たはずの小屋宿泊者の姿をみとめる。どうやら、朝焼けに紅く染まる縄文杉を皆さんは待っていたようだ。我々は先に進む。大株歩道入口から先は、しばらく平坦なトロッコ道を辿る。道中、ガイドに先導された団体ツアー客に何度も道を譲った。屋久島は観光客でとても賑いがあった。楠川分かれからは、雰囲気のある山道へと変わり、もののけ姫の世界に引き込まれる。そこを抜ければ、白谷雲水峡まではあっという間であった。白谷雲水峡へ予定より早く着いたため、計画より1本早い宮之浦港行きバスに間に合った。そのため高速船トッピーを3割手数料でキャンセルし、行きと同じフェリー屋久島2で帰ることにした。

反省

田中

今回初めての1学年だけで行う山行を体験したが、計画の杜撰さが露呈した。バスの時刻表が最近改定されていたことに、合宿直前で気づき、計画を練り直した。計画をより早く、綿密に立てておく必要性を学べた。また、食糧においても、2人の間ですれ違いがあり、棒ラーメンを持っていっておらず、代わりにフリーズドライへと変更した。反省点はあるものの、屋久島の豊かな大自然を満喫し、この合宿をととても楽しめた。この経験を活かし日々の活動にもより励んでいきたい。

山崎

初めての一年生だけの合宿でなれないことをしかなり疲れたとことが会ったがとても勉強になった。ほぼ空荷の状態だったのだが消耗が激しくこれは冬合宿が思いやられると感じた。今後の課題としては体力筋力の増強が第一である。今後も頑張りたい。